

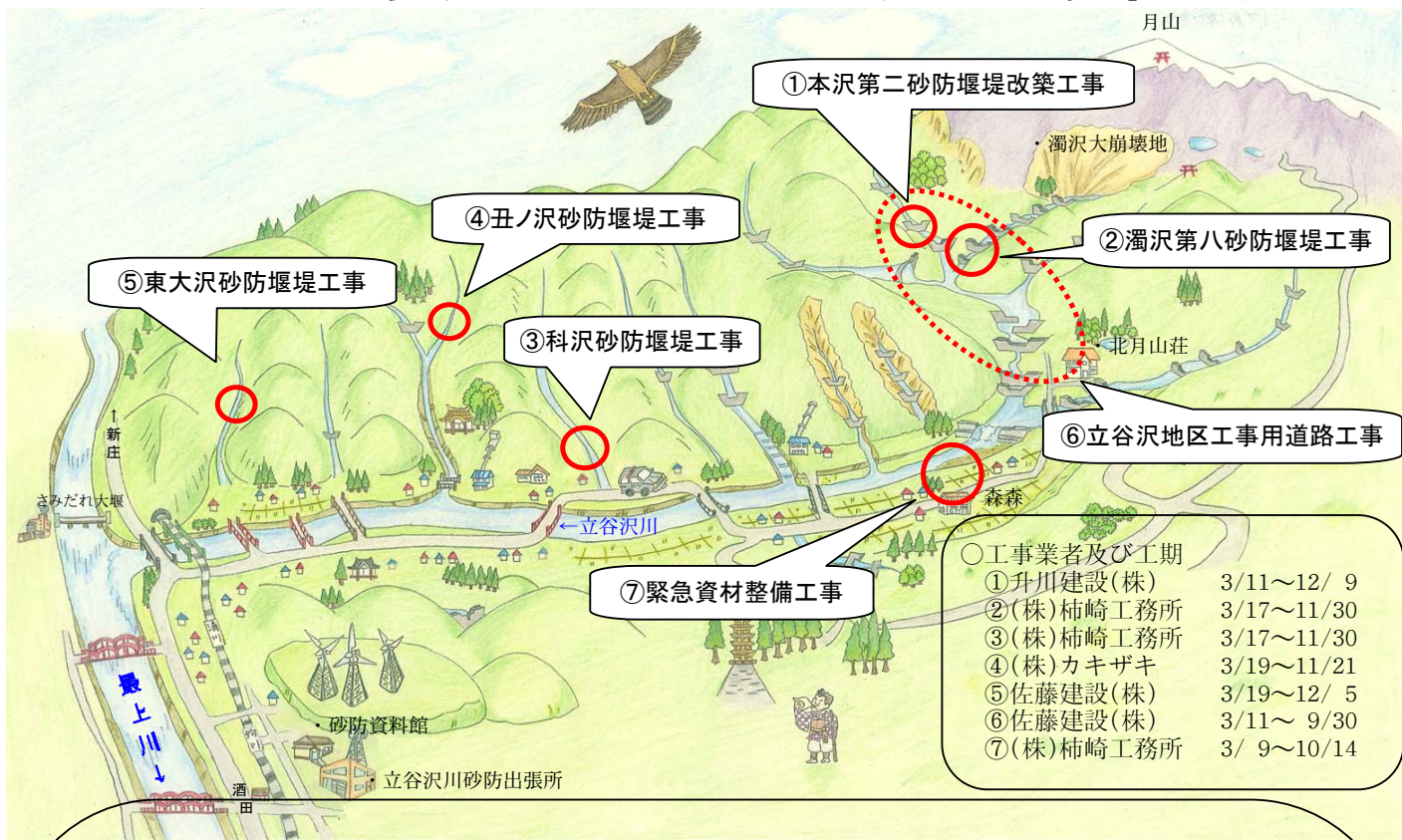
さきちゃんだより



No.50

発行 2011. 5 新庄河川事務所 立谷沢川砂防出張所

平成23年度 立谷沢川流域砂防事業



○工事業者及び工期	
① 升川建設(株)	3/11～12/ 9
② (株)柿崎工務所	3/17～11/30
③ (株)柿崎工務所	3/17～11/30
④ (株)カキザキ	3/19～11/21
⑤ 佐藤建設(株)	3/19～12/ 5
⑥ 佐藤建設(株)	3/11～ 9/30
⑦ (株)柿崎工務所	3/ 9～10/14

①本沢第二砂防堰堤改築工事 … 本沢の不安定土砂の固定や流出土砂調節など機能向上を図るため、既設堰堤のスリット(切れ目)および嵩上げをする工事を昨年度に引き続き実施します。また、今年度は既設橋の撤去に伴い、仮設道路(渡河施設)の造成も併せて行います。

②濁沢第八砂防堰堤工事 … 濁沢の斜面崩壊を受けて、主に土石流を防ぐ目的のため、また上流域からの流出土砂の調節を目的として、昨年度に引き続き砂防堰堤工事を実施します。今年度は主堰堤を右岸部から着手、副堰堤の補強の完成を目指します。

③科沢川砂防堰堤工事 … 科沢は人工林が多く、小規模ながら人工林での崩壊も見られ、流木の流出の可能性が高いことから、土石流対策および流木対策を目的として今年より砂防堰堤工事を実施します。今年度は昨年度より実施している工事用道路工事を終点(本堰堤部)まで行き、本堰堤については左岸部より行います。

④丑ノ沢砂防堰堤工事 … 昨年度から引き続き上流域からの流出土砂調節を目的とし、砂防堰堤工事を実施します。今年度は主堰堤の完成を目指し、副堰堤についても右岸部より着手します。

⑤東大沢砂防堰堤工事 … 東大沢は平常時には顕著な土砂流出は見られず比較的落ち着いた状況ではありますが、渓流内部では小規模崩壊が見られ、地すべり地形を流域内に抱え、平成20年度の豪雨では一部の崩壊による土砂流出もあったことから、今年度より砂防堰堤工事に着手し下流域の保全を目的に工事を行います。

⑥立谷沢地区工事用道路工事 …立谷沢川流域における砂防えん堤の工事用道路および管理用道路等の機能を維持するため、工事を実施します。

※工事の中には調査および用地協議継続中の箇所もあります。経過など調整を図りながら進めてまいりますので、何卒ご協力をお願いします。

東日本大震災における支援活動

3月11日、東北地方太平洋沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、新庄河川事務所(以下、新庄河川)管内では、最大震度5強を観測しました。このたびの大震災により、お亡くなりになった方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

この地震により、東北地方をはじめとする各地に甚大な被害が生じましたが、新庄河川管内の河川・砂防施設、土砂流出、地すべり等の被害、異常はありませんでした。

東北地方整備局では、特に被害の大きかった岩手・宮城・福島県を中心に、震災直後から全整備局の支援を受け国道や航路の啓開作業による交通網の確保、被災した河川堤防や海岸の緊急復旧など、住民の安全確保のため、全力で取り組んできました。

新庄河川でも、排水ポンプ車や通信機器の貸与及び自治体の情報収集や調整のため被災地へ職員を派遣しました。また、緊急支援物資の提供等も行ってきました。

災害対策現地情報連絡員(リエゾン)

石巻市・女川町へ職員を震災翌日から派遣

～出張所からも3名の職員が派遣～

新庄河川では、震災翌日(3月12日)から宮城県石巻市へ災害対策現地情報連絡員(リエゾン)を派遣し、被害状況等の各種情報収集と関係機関との連絡調整を行っています。3月21日からは派遣先を女川町に変更し、5月13日現在、延63名の職員を派遣しています。

今回の災害は、被災地自治体の庁舎や通信施設、さらに職員に大きな打撃をもたらしており、持参した衛星携帯電話は被災地域の重要な通信手段となりました。

また、町の要望等を東北地方整備局に逐次連絡し調整を図り、仮設住宅の適地のアドバイス等、技術的な対応を行いました。

なお、派遣職員は食料や宿泊等、全て自己完結型で実施したものです。



女川町長(右)との打合せ



仮設住宅の適地アドバイス



排水作業後の捜索状況

排水ポンプ車を派遣

270万m³を排水

～湛水区域の解消と行方不明者捜索に貢献～

新庄河川では、津波により冠水した地域の排水のため、3月24日より宮城県石巻市・名取市・亶理郡亶理町・亶理郡山元町、福島県相馬市等へ排水ポンプ車4台と照明車2台を派遣し、排水作業を行っています。

採水作業は24時間体制で実施し、5月13日までの排水量は270万m³(東京ドーム約2.2杯分)に達しています。

なお、排水作業は行方不明者の捜索に貢献しました。

(※東京ドームは123万m³)



排水作業状況

昨年度は砂防事業関連工事にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございました。立谷沢川砂防出張所では、引き続き立谷沢川流域砂防事業に精一杯取り組んで参る所存です。本年度も何卒よろしくお願ひします。

立谷沢川砂防出張所一同

《立谷沢川砂防出張所／砂防資料館》

〒999-6601
東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
TEL 0234-56-2050
FAX 0234-56-2081

<http://www.thr.mlit.go.jp/shinjoyu>

～砂防資料館～

開館日：※土日・祝日は閉館しております。

※ご利用の際は事前にご予約ください。

駐車場 小型バス3台駐車可

